

## 労働新聞「人事の小窓 ちょっと道草」で日本の経済について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

桜が綺麗に咲きましたが、どんどん散っています。栃木県内でも県北のほうはともかく、県南や宇都宮のほうはほとんど散ってしまいました。ですから、桜がまだ咲いているところにお住まいの方は散る前に十分にお楽しみいただきたいと思います。また、今頃の季節の山を見ると、蓬色(よもぎいろ)というか、萌え出づるような素晴らしい色に変わっています。私は、栃木県内の大小の山を見てこんなに美しいときはないと今の時期を感じています。

2. さて、私は栃木県経営者協会というところに参加させていただいており、その紹介で労働新聞に原稿を書かせていただきました。4月14日に出る新聞の「人事の小窓 ちょっと道草」というコーナーに1200字～1300字ぐらい、400字詰め原稿用紙で3枚ぐらいの文章を書かせていただきましたので、今日はその内容を少し紹介いたします。

3. 安倍内閣は今、「3本の矢」の1つとして日本の経済成長をどのようにするかを考えています。それに対する私の考えは潜在成長率を高めようということですので、新聞にはそれについて書かせていただきました。読売新聞栃木版に以前にも書かせていただいたことを、今回はさらに詳しく書かせていただいたのです。この放送でも前にお話したかもしれませんが、私の基本的な考えは、労働参加率を向上させることと労働生産性を向上させることが潜在成長率を高める、そうすると経済が成長して安倍内閣のいう3本の矢の1本になるというものです。

4. まず、労働参加率についてお話しします。ものを作り出す・サービスを提供するのにふさわしい年齢はどのくらいかという、労働生産年齢人口という考えがあります。これにはいろいろな意見がありますが、私は、高校生でも働こうと思えばいくらでも働けますので、15歳から64、65歳までの方は何らかの形で仕事ができるとして、その40年間にあてはまる方を労働生産年齢人口だと考えています。そして、その方々の労働に参加する率を向上させることが大事であると考えています。

5. また、1週間に8時間以上働くと労働に参加していると言えます。8時間以上働くことは学業に差し障りがあるか否か微妙なところですが、高校生・大学生が自分の学費やお小遣いなどを稼ぐために週に8時間以上働くことはよい社会勉強になり、学校の勉強をする上でも促進になると思います。ですから、高校生も含めて8時間以上働く方を増やしていきたいと考えています。
6. それから、家から外になかなか出られない方には、テレワークという働き方があります。「テレ」は離れているという意味で、「ワーク」は働くという意味です。お店や職場に行かなくても、離れているところ、つまり、家庭でできる仕事もありますので、そのような形でなら8時間以上働くことが可能な人も多いと思います。女性の方や子育て中の方、障害をお持ちの方、介護をしている方などで職場を離れざるを得なかった方もたくさんいらっしゃると思いますので、そのような方が週に8時間以上働くことによって労働に参加することも素晴らしいと思います。また、病気になられた方の中にも、長い時間働くことは大変だが、1週間に8時間なら働けるという方もたくさんいらっしゃると思います。ですから、少しでも働ける方は家で8時間だけ働く形で労働に参加することも労働参加率を上げると思います。15歳から65歳までの方は、このような形で労働参加率を上げる。
7. では、65歳を過ぎたらどうするかというと、65歳を過ぎても働ける方は山ほどいて、実際に働いている方もたくさんいらっしゃると思います。65歳を過ぎた方も無理のない範囲で週8時間以上働くと労働参加したことになりますので、可能であれば75歳過ぎまで、85歳過ぎまで、95歳過ぎまで、105歳過ぎまで週に8時間以上働く。つまり、65歳以上の高齢者の方は無理のない範囲で週8時間以上働くことによって労働参加率を大幅に向上させることが、安倍内閣のいう3本の矢の1本になると思います。
8. また、労働生産性の向上には、エクセルやワードなどのコンピュータの知識が必要です。ですから、ありとあらゆる社会教育施設でエクセルやワードの初級・中級・上級の講座を開講していただき、できれば無料で開講していただいて、皆様がそれらのスキルを身に着けることも大事ではないかと思います。それから、英語も必要ですので、ラジオの英語講座などを活用しながらなるべく安いお金で勉強することも大事であると思います。
9. このようにして労働生産性を上げ、また、8時間以上働く方を増やしていったら、安倍内閣のいう経済成長の3本の矢の最後の成長戦略を考えようというのが、私の考えです。労働参加率と労働生産性を向上させて、潜在成長率を高める。そして、安倍内閣の3本目の矢にあたる経済成長率を上げようという考えを、4月14日号の労働新聞に書かせていただきましたので、今日はそれについて紹介いたしました。放送をお聴きの皆様はどのようなお考えでしょうか。是非、お聞かせください。